



2020. 3. 31

「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」提言への賛同を表明

静岡銀行（頭取 柴田 久）では、本日、金融安定理事会(FSB)により設置された「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の提言への賛同を表明しましたので、その概要をご案内します。

1. 賛同日 3月31日（火）

2. 賛同の目的・背景

- （1）世界各地で異常気象等による被害が甚大化するなど、世界的な課題である気候変動は、企業の事業環境や経営そのものに大きな影響を及ぼす要素となりつつあります。
- （2）こうしたなか、気候変動が企業の財務内容へ与える影響についての情報開示を求める機運が高まっており、TCFD（※）提言においても、各企業に対し、気候変動に関する「リスク」と「機会」についての情報開示を求めています。
- （3）静岡銀行では、基本理念「地域とともに夢と豊かさを広げます。」のもと、郷土の豊かな自然環境を守り、より良く次の世代へと引き継ぐため、環境保全に資するさまざまな活動を行ってまいりました。

今般、TCFD 提言に賛同し、情報開示の充実を図るとともに、地域の持続的成長に向けてグループ一体となり、環境等の社会問題に対して積極的に取り組んでまいります。

※TCFD（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）とは

- ・ 主要国の中央銀行や金融監督当局などが参加する金融安定理事会（FSB）により設立されたタスクフォース
- ・ 投資家への適切な情報提供を目的に、気候関連財務情報の開示を企業に促している